

調査対象 県内在住の18歳以上男女
調査数 2,000名（県内15市町村の住民基本台帳から抽出）

資料3

動物愛護に関する県民意識調査（案）

令和5年8月吉日

調査委託者 富山県生活衛生課
調査受託者 ●●●

動物愛護に関する県民意識調査のお願いについて

本調査は、県民のみなさんの動物愛護に関する実態やご意見をお伺いし、今後の県の施策などの基礎資料とするために実施するものです。

調査対象となる方の選定については、クジ引き方式による統計的な方法で無作為に抽出したものです。この調査の結果については、県の施策などに活用するために広く公表する予定ですが、個人に関する情報が公表されることはありませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご記入についてのお願い

- (1) 調査対象者ご自身をご記入いただきますようお願いいたします。
- (2) ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- (3) 調査票は、必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

※令和5年 月 日（ ）までにご返送（ご回答）願います。

※調査全般に関して 富山県生活衛生課
（食品乳肉係）

電話076-444-3230

※調査票送付先 ●●●

担当：○●●

電話：

（この調査は に委託しております。）

1. 【動物とのかかわり】

問1 あなたは動物が好きですか。

- 1 好き
- 2 どちらかといえば好き
- 3 どちらかといえば嫌い
- 4 嫌い
- 5 関心がない

問2 現在、あなたの家庭では動物を飼育していますか。(複数選択可)

- 1 犬
- 2 猫
- 3 ウサギ
- 4 モルモット・ハムスター
- 5 その他の哺乳類
- 6 鳥類
- 7 爬虫類
- 8 両生類
- 9 魚類
- 10 以前は飼育していたが、現在は飼育していない
- 11 今までに一度も飼育したことがない

2. 【犬・猫を飼っている方への質問】 → 飼っていない方は、3. 【犬や猫を飼っていない方への質問】にお進みください。

問1 犬や猫はどこで入手しましたか。(複数選択可)

- 1 ペットショップ等販売店
- 2 拾った・迷い込んできた
- 3 ブリーダーから
- 4 知人・友人から
- 5 動物管理センター、厚生センター、保健所から
- 6 動物愛護団体から
- 7 その他

問2 飼っている犬・猫の性別はどちらですか。(複数選択可)

- 1 オス
- 2 メス

問3 不妊・去勢手術は実施していますか。

- 1 実施している → 問5へお進みください。
- 2 実施していない

問4 不妊・去勢手術を実施していない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 必要だとは思わないから
- 2 子犬や子猫をませたいから
- 3 かわいそうだから
- 4 経済的な理由
- 5 今後実施予定

問5 所有明示(所有者がいるとわかる措置…首輪等)をしていますか。

- 1 はい(首輪のみ)
 - 2 はい(マイクロチップのみ)
 - 3 はい(首輪とマイクロチップ)
 - 4 いいえ
- } → 問7へお進みください。

問6 所有明示をしていない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 室内で飼っているので必要ない
- 2 何かに引っかかることが怖いから
- 3 特に理由はない

問7 犬や猫を飼い続けることに関して心配していることはありますか。(複数選択可)

- 1 動物の病気や死亡により、つらい思いをするのではないか
- 2 転居や加齢により、世話ができなくなるのではないか
- 3 近隣に迷惑がかかるのではないか
- 4 動物の病気により、経済的負担が重くならないか
- 5 飼うのが嫌にならないか
- 6 災害時の同行避難ができるかどうか
- 7 特に心配していることはない

3. 【犬や猫を飼っていない方への質問】

問1 飼わない理由は何ですか。(複数選択可)

- 1 好きではないから
- 2 動物が死んで、つらい思いをしたくないから
- 3 犬や猫を飼えない住宅環境だから
- 4 長期外出できなくなるから
- 5 世話をする時間がないから
- 6 最後まで世話をできない可能性があるから
- 7 家族が反対するから
- 8 近所への迷惑や、近所からの苦情が心配だから
- 9 犬や猫の飼育方法がよくわからないから
- 10 転居する可能性があるから
- 11 動物病院の治療費が高いから
- 12 日常の飼育管理にお金がかかるから
- 13 亡きがらを処理することができないから
- 14 犬や猫が高価だから
- 15 家族が動物アレルギーだから
- 16 その他

4. 【殺処分について】

問1 富山県では、令和4年度の1年間に約50頭の犬や猫が致死処分されていることを知っていましたか。

- 1 おおよその頭数を含め、知っていた
- 2 知っていたが、思っていたよりも多い
- 3 知っていたが、思っていたよりも少ない
- 4 知らなかった

問2 毎年犬や猫が致死処分されている原因は何だと思えますか。(複数選択可)

- 1 野良猫が多いこと
- 2 十分に考えず安易に犬や猫を飼い始めること
- 3 不妊・去勢手術の不徹底による望まない繁殖
- 4 飼い主のいない猫への無責任なエサやりによる過剰繁殖
- 5 管理できない多頭飼育
- 6 所有明示をしていないこと
- 7 販売業者が十分な説明をせずに販売すること
- 8 飼えなくなった犬や猫の行政による安易な引取り
- 9 交通事故等により治療見込みのない動物に対する安楽殺
- 10 その他

問 3 犬や猫の致死処分頭数を減少させるために有効な手段はどれだと思いますか。(複数選択可)

- 1 飼い主の自己責任による不妊・去勢手術の実施
- 2 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対する支援
- 3 捨て犬や捨て猫に対する法律や条例の厳罰化
- 4 捨て犬や捨て猫に対する行政機関の指導や取締りの強化
- 5 猫を外に出さないような飼育方法の徹底
- 6 保護・収容した犬や猫に関する積極的な情報提供
- 7 地域猫活動の推進
- 8 メディアなどによる積極的な広報
- 9 動物愛護教育の充実
- 10 ボランティアによる啓発活動や飼い主へのアドバイス

5. 【今後の動物愛護への取り組み】

問1 今後、行政は動物愛護に関してどのような取り組みを強化するべきだと思いますか。(複数選択可)

- 1 犬の登録・狂犬病予防注射の推進
- 2 飼えなくなった犬や猫の引取りを求める飼い主への指導
- 3 動物取扱業者への指導
- 4 行政が引き取ったり保護した犬や猫の譲渡事業
- 5 飼い犬や飼い猫に対する不妊・去勢手術への支援
- 6 飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術への支援
- 7 放浪している犬の保護
- 8 動物を不適正飼養あるいは虐待していると思われる飼い主への指導
- 9 危険な動物を飼育する人や施設への監視
- 10 犬や猫の正しい飼い方を教える講習会の開催
- 11 ペットの飼い方等に助言を行う指導者の育成
- 12 動物愛護団体との協力、ボランティアの育成
- 13 アニマルセラピーなどの福祉・医療などへの動物の活用
- 14 ペットの防災対策の啓発
- 15 被災動物の受け入れや救護への備え
- 16 飼い主のいない猫に餌を与える人への指導
- 17 地域猫活動の推進

問2 保護犬・猫の譲渡等を行っている「富山県動物管理センター」を知っていますか。

- 1 知っており、行ったことがある
- 2 名前は知っているが、行ったことはない
- 3 知らない

問3 富山県動物管理センターは、立山町（常願寺川公園隣接）に昭和57年に犬猫の収容・譲渡・殺処分施設として設置されました。その後、殺処分頭数は多い年で犬約4,900頭、猫約2,900頭でしたが、令和4年度は、犬2頭、猫23頭と大きく減少し、一方で譲渡頭数は犬11頭、猫87頭と設置当初の処分施設としての役割は小さくなっています。

近年、動物愛護思想の高まりから、業務が犬猫の譲渡事業や飼い主への飼養方法の指導、動物愛護の普及啓発が中心となっていますが、愛護事業を行うには設備面（収容スペースの不足など）や機能面（研修、啓発機能など）での課題があり、県では動物愛護の新たな拠点となるよう動物管理センターの設備充実について検討しています。今後、動物管理センターに、どのような施設・設備の充実を図ればよいと思いますか？（複数回答可）

- 1 譲渡動物を自由に見学できる部屋
- 2 譲渡動物とふれあえる部屋
- 3 譲渡前の動物に不妊・去勢手術を実施する手術室
- 4 現在よりもたくさんの動物を保護できる部屋
- 5 動物の飼い方や病気、ペット防災等について学べる部屋
- 6 社会科見学などに対応できる施設
- 7 ボランティアが活動できる部屋
- 8 ドッグラン

6. 【フェース・シート】

お答えいただいたことを統計的に分析するため、下記についてご記入をお願いいたします。

F1 年齢 あなたの年齢は満でおいくつですか。

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～29歳 | 2 | 30～39歳 | 3 | 40～49歳 |
| 4 | 50～59歳 | 5 | 60～69歳 | 6 | 70歳以上 |

F2 本人職業 あなたの職業は次の中のどれにあたりますか。

- | 〔自営業主・家族従事者〕 | | 〔勤め人〕 | 〔無職〕 | | |
|--------------|---------|-------|------|----|--------|
| 1 | 農林漁業 | 4 | 管理職 | 8 | 学生 |
| 2 | 商工サービス業 | 5 | 事務職 | 9 | 主夫・主婦 |
| 3 | 自由業 | 6 | 技術職 | 10 | その他の無職 |
| | | 7 | 労務職 | | |

F3 調査地点 あなたのお住まいの市町村はどちらですか。

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|------|----|-----|----|-----|
| 1 | 富山市 | 2 | 高岡市 | 3 | 魚津市 | 4 | 氷見市 | 5 | 滑川市 |
| 6 | 黒部市 | 7 | 砺波市 | 8 | 小矢部市 | 9 | 南砺市 | 10 | 射水市 |
| 11 | 舟橋村 | 12 | 上市町 | 13 | 立山町 | 14 | 入善町 | 15 | 朝日町 |

調査はこれで終了です。

多くの質問項目にご回答いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。